

## 會員諸君へ

主幹 倉橋惣三

今回の大災により幾多の御不幸に遭遇せられた方が、我が會員諸君の中にも  
尠くないと思ふのであります。會からは、一々直接にたたづねもし、御慰安も  
致すべきことゝ存じながら、其の意を盡さず。不本意に打ち過ぎて居ります。  
たくればせながら、茲にお見舞ひ申上げます。

本會は、事務所として居りました、東京女子高等師範學校附屬幼稚園は全焼  
しましたが、會の重要な書類は幸外に持ち出して居りましたので、會務の上に  
格別の支障がありません。御安心を願ひます。

本誌は、九月號の發送を大震の前日に終つて居りましたことは、誠に幸のこ  
とでありましたが、其の後は、印刷所の焼失のために、お断りもせず一時休刊

いたしました。就ては之れは御諒承を願ひまして、新たに十二月號から舊通り  
續刊することゝいたしました。讀者諸君に對し、甚だ愛顧に背くものでありま  
すが、此の場合御諒承を願ひます。

尙ほ此の際に於て、本會のために、一層の御同情を切に願ふ次第であります

震災の結果印刷工場は原稿、原版と悉く焼失し、是非なく休刊致しましたが、其後鋭意復興に努力致  
し一方、埼玉縣大宮町の印刷工場秀飯舎に依頼しまして、本拾二月號が續刊出來たのです、原稿も不備、  
印刷も不備、裝幀も不備の折柄、斯る製本で發行できたのは非常に良成績なのです、會員諸君には不満  
足でもありませんが、何卒此點御諒承を願ひます。來拾三年度は印刷工場も復興致しますから、洗練し  
た原稿を満載して御満足を得るやう努力致します。

發行所

○假事務所 本郷區弓町二丁目二十五番地 坂内方

○發行所 (從前) 東京上野公園寛永寺坂下(上根岸八十八) 敎文書院  
(通り)